

固体地球科学セクションボード (SSB) 会議議事録

2018年5月23日 12:30-13:20@101

出席者：大谷栄治、田中聡、道林克禎、中川貴司、木村純一、吉田茂生、森下知晃、川本竜彦、鈴木勝彦、中川光弘、中村美千彦、河上哲生、田所敬一、鍵裕之、M. Satish Kumar

議題：

報告事項

- ・ PEPS の科研費が不採択になったため、平成 30 年度予算について固体地球科学セクション分も 10% の節約要請があった (大谷)
- ・ 地球深部科学 FG からの報告 (田中)
 - 昨年度は、アジア・オセアニア地球ダイナミクス meeting の支援をした
- ・ ハードロック掘削科学 FG 報告 (道林)
 - 昨年度に FG が承認され、メーリングリストを立ち上げた。また、JpGU のウェブサイトにも FG 関連のホームページを作成中である。
 - 5月21日(月)の12:30-13:30にA08会場においてハードロック掘削科学研究会を開催し、FGの立ち上げとその目的について説明した。また、掘削科学若手奨励賞を3名の学生に授与した。今年度の秋頃にキックオフミーティングを開催したいとの報告をした。
- ・ アジア・オセアニア地球ダイナミクス meeting 現状報告 (中川)
 - 8月6-8日の3日間に6セッションの開催予定で準備を進めている。場所は JAMSTEC 横浜研究所で講演者はほぼ決定済みである。プログラムは近日中に公開する。9日には清水港で地球深部探査船ちきゅうの見学をする予定である。7月15日まで参加者募集中である。5月23日現在、25名の参加者、会場は100名まで収容可能である。本 meeting の招待講演者2名の旅費支援を SSB 予算として申請している。
- ・ FG についてのアンケート結果の報告と意見交換について (田中)
 - 31名のうち9名から回答があった。FGのような内部構造は肯定的であるが、恒常的な組織を設置するよりは従来の学会に収まらない構造が望ましいとの回答が多かった。新たな FG 設置の要望はない。
 - 執行部では総括案を代議員に報告することを検討中である。
 - 実益のために FG を立ち上げることも可能 (大谷)
 - FG は2年の時限付きである (大谷)
- ・ 夢ロードマップ TF の設置について (川勝・大谷)
 - プレジデントから固体地球科学セクションの夢ロードマップが5年ぶりに改正されるため、そのためのタスクフォース (TF) を設置するとの報告があった。

18名のTFメンバーが紹介された。

- ・[物理]観測（地震、電磁気、測地、素粒子観測など）5名
田中明子（AIST）、西村太志（東北大）、西田究（地震研）、
田中愛幸（地震研）、伊藤喜宏（京大防災研）
- ・物質科学（地質学、高圧実験、地球惑星化学、岩石鋳物鋳床など）3名
太田健二（東工大、ELSI）、片山郁夫（広島大）、小宮剛（東大）
- ・モデル・シミュレーション（順問題、逆問題、同化、AI、機械学習）5名
中川貴司（JAMSTEC）、土屋旬（愛媛大）、桑谷立（JAMSTEC）、
前田拓人（地震研）、是永淳（Yale大学）
- ・コアメンバー 5名
川勝均（地震研、委員長）、岩森光（JAMSTEC、副委員長）、大谷栄治（東北大）、田中聡（JAMSTEC）、道林克禎（静岡大）、

人選にあたっては、コアメンバー内で大まかに上記のような分野をとりあげたが、これに限らず自由に意見を求めるとの説明があった。これまでに前回の夢ロードマップに関するTFメンバーからの意見を集約して川勝委員長が改正案のたたき台を作成しユニオンセッションで紹介した。ユニオンセッションでは既存のロードマップの縦軸と横軸の設定に対して検討すべきとの意見があり、拡大委員会で全体の図面を検討する予定である。固体地球科学セクションでも、後ほどSSBメンバーからも意見を募集する予定である。

審議事項

- ・SSBの次期執行部について
現プレジデントから次期執行部について、現行と同じ体制（プレジデント：大谷、バイスプレジデント：田中、幹事：道林）が示され、これを承認した。任期は2年。
- ・新規SSBメンバーの希望・変更について
武井先生と松沢先生が退任するが、そのほかのメンバーは継続することとした。任期は2年。退任後の補充については特に推薦者はないため、後日SSBのメール等で検討することとした。
- ・SSB予算について
プレジデントから今年度のSSB予算の申請額1,150,000円を10%節約するため1,035,000円としたいとの提案があり、一部修正の上、下記のように承認された。ただし、実行しなかった予算はJpGUに返却することとした。

第2回アジア-太平洋マントル・リ ソスフェアダイナミクスに関するワ ークショップ共催	研究者招聘2名40万円、会議 参加費支援5万円×3件	¥550,000 (承認)
掘削 FG(フォーカスグループ) キッ クオフ会合	キックオフ JPGU セッション招 聘および FG 会合旅費	¥400,000 (承認)
地球惑星深部 FG 会合	会議室料金、会合旅費	¥150,000 を¥35,000 に変更、10%
セクションボード会合	部屋代貸借料等	¥50,000 (承認)

・地球深部科学 FG の新体制の承認

2013 年発足、過去 2 回更新の承認。

継続することが承認された

新体制が示され、承認された (委員長：島伸和さん (神戸大)、副委員長：高橋
太さん (九大)、幹事：田中聡 (JAMSTEC))

・ハードロック掘削科学 FG について

体制 (委員長：道林克禎、副委員長：森下知晃、幹事：小野重明) とその設置につ
いて承認された。2 年間の時限付き。継続する場合には、2 年後に再度 SSB から承
認をえることとした。

・固体地球科学セッションの JpGU の委員について

現状の確認をして下記の通りこれを承認した。交代する場合には連絡してもら
うこととした。

プログラム委員：池田剛さん (SSB)、生田領野さん、奥村聡さん

学生優秀賞担当：成瀬 元さん、河上哲夫さん、田所敬一さん、前野 深さん (全
員 SSB)

SSB 表彰検討委員：ウォリスさん (SSB)

夢ロードマップ TF：川勝さん (委員長、SSB)、岩森さん (SSB)、SSB 執行部、他

FG-SEDI 次期体制：島 (委員長)、高橋 (副委員長)、田中 (幹事)、以下委員：井
上、大谷、鍵、中川 (新規)、吉澤、山崎

FG-HardRock 体制：道林 (委員長)、森下 (副委員長)、小野 (幹事)、以下委員：
海野、田村、高澤

固体地球科学セクション選出の委員：

財務委員会：井出さん

ダイバーシティ推進委員会：阿部なつえさん、前野深さん (SSB)

大学および大学院教育小委員会：福田さん(SSB)、西山さん(SSB)

・西田賞の公募があるため、審査員を推薦することになる。また、自薦他薦をお願いしたい。
執行部として協力する。

過去2回とも固体地球科学の応募者が少なかった（鍵さん）

・固体地球科学の代議員との交流の改善、情報交換

これまで代議員とSSBとの連携が少なかった

代議員のMLを活用してSSBの情報を連絡するように努める

・その他

早期投稿の要旨の入力に関してクレームがあった。検討してほしい

・2017年12月12日：セクションボードと固体代議員に夢ロードマップ改訂TFへの参加を依頼。レスポンスあり。

・2017年12月15日：TFのメンバー検討開始：前検討委員岩森先生と検討

・2017年12月20日：TFの委員長（川勝教授）副委員長（岩森教授）を決定：執行部3名を含めて、TFコアメンバーを決定。

・2018年1月12日：大型研究のリーダーあて、アンケート：現在のロードマップへの改訂意見を求める。

・2018年1月15日：TFメンバーを決定。TFメンバーにアンケート送付

「夢ロードマップ」の改訂

*長期的観点 — 「夢」も記述。

*中期的観点 — 「実現可能な実施すべき研究項目」なども抽出。

*各々のサイエンスセクションごとにポンチ絵と、1000字程度の書類2ページをお願い。

*Top down, Middle, Bottom up など、どちらも含む。

2011年の当所の作成からの7年間の時の経過を踏まえ2020年を見据えた改訂。

・2018年2月7日：JPGU アブストラクト提出：現状報告

・2018年2月～3月：アンケート結果を分類・分析、改訂原案の検討を開始。

・2018年4月24日：経過報告1（川勝原案）、検討とコアメンバーで意見股間

・2018年5月6日：経過報告2：改定後、TFメンバーに意見を求める。

・2018年5月17日：経過報告3：暫定改定案を策定。